

PD 製品デザインコース教員 専門性解説シート

● 氏名 / (NAME) / 役職

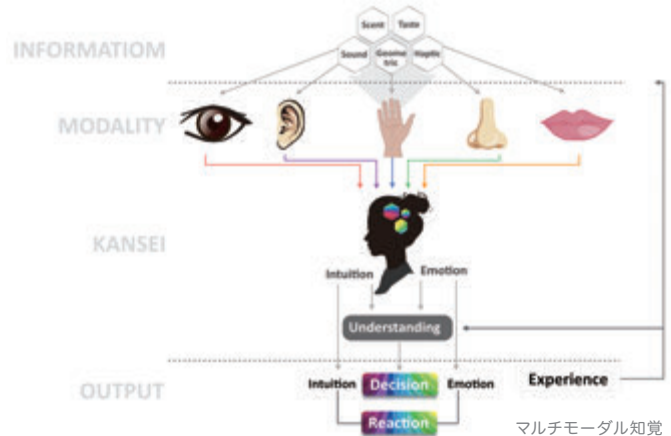
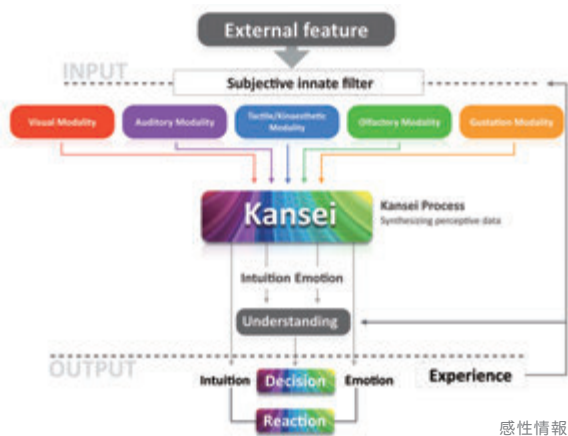
金 秀敬 SuKyoung KIM 講師



● 職歴 / 学歴

2016 札幌市立大学 デザイン学部 人間情報デザインコース 講師
 2015 Kunstuniversität Linz, Austria 客員研究員
 2013 広島市立大学芸術学部及び広島国際学院大学情報文化学部 非常勤講師
 2012 筑波大学芸術学系 博士特別研究員
 2012 筑波大学 大学院 人間総合科学研究科 博士(感性科学)
 2009 筑波大学 大学院 人間総合科学研究科 修士(感性科学)
 2007 独立行政法人産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー部門 研究助手
 2007 筑波大学 大学院 人間総合科学研究科 感性認知脳科学(感性情報学専攻)入学

● 専門性を示す代表的な作品 / 専門性を表現するイメージ(写真)



● 専門性を表すキーワード(5つ以内)

感性情報 評価法 マルチモーダル知覚(Multimodal Perception)

● これからの製品デザイン分野で重用視されると考えるキーワード(5つ以内)

感性価値 インクルーシブ(Inclusive) サービスデザイン(Service Design) ソーシャル(Social) 遊び

● 指導時に主にサポートできる部分(技術/造形/表現手法/ソフトウェア/思考/発想、等)

発想: 問題発見と解決過程に於ける着目点の指導(チームワークおよび発想法指導)

表現: コンセプトに適した表現手法の指導(Dessin・Croquis・Illustrator・Photoshop・3DStudio Max)

検証: デザイン学、心理学、科学に基づく実験計画および分析方法指導(印象評価・行動観察・生理測定)

公開: 研究および制作成果の公開方法の指導(日・英論文・ポートフォリオの制作)

● フリーコメント

“多様な人間生活環境に関連する全てのモノ・サービス・システムと関連する創造活動”であるデザインは、独断的でないため、プロセス全般に関連し技術・文化・経済へ影響する重要な要因となります。そのため「ともに・持続的に・幸福に生きる人材育成」を目指す(1)地域プロジェクトを通じた「連携と発展」(2)「創造と共感」を体得できるデザイン教育が重要であり、そこで私は、科学・コミュニケーション・価値クリエーションの3つの視点からとらえたデザイン教育を通じ、研究と講義が社会とのつながりを保つようにしたいと思います。